

# 平成28年度カンダーシュテーク 夏季野営スタッフ派遣 報告書



平成28年6月4日~9月2日

ボーイスカウト神奈川連盟 湘南地区 鎌倉第3団 赤瀬川 航



# はじめに

#### LIVE THE DREAM

KISCではこの言葉をよく目にします。

昔、ベーデン・パウエルが夢に描いた Permanent mini Jamboree (スカウトが常にジャンボリーを体験できる場所)は現在も変わらずKISCで生き、活かされています。特に夏季シーズンは世界中から多くのスカウト、指導者がこの場所を訪れ、共に生活し、活動を行う中で、国境を越えた信頼関係で結ばれていきます。 KISCでの体験は毎日が新しく、本当に夢のような時間でした。 今回の派遣にご協力下さった日本連盟国際委員の皆様、スカウト 関係者の方々、そして友人に感謝します。



# 目次

KISCとは		1	
スタッフ構成		2	2
スタッフの仕事	事内容	3	3
短期スタッフ	3カ月の流れ	4	1
短期スタッフ	1日の流れ <sub></sub>	5	5
私の仕事		6	5
休日の過ごした	<u> </u>	7	7
思い出		8	3
派遣を終えて		g	9

#### KISCとは

KISC (Kandersteg International Scout Centre/カンダーシュテーク国際スカウトセンター)はスイスの首都 ベルンから南に60km ほどのところに位置するカンダーシュテーク(Kandersteg)にあり、世界スカウト機 構が通年運営するスカウトセンターです。カンダーシュテークは世界遺産でもあるブリュームリアルプ (Blüemlisalp) の山々を望める山岳エリアで、ヨーロッパを中心に世界各国から集まるゲストたちは大自然 の中で様々な活動を体験することができます。また、一般の方も滞在可能です。

1920年の第1回世界スカウトジャンボリー後、ベーデン・パウエル(B-P)は「スカウトが常にジャン ボリーの雰囲気を体験できる施設」を夢に描きました。翌年、B-Pの友人であり、スイスにおけるスカウト 運動最初期の指導者ワルサー・フォン・ボンシュテッティンがカンダーシュテークに使われていない宿泊施設 を発見します。そこはトンネル建設中に作業員とその家族が住んでいた場所で、トンネル開通後は使われなく なっていました。ワルサー・フォン・ボンシュテッティンはこの発見をB-Pに伝え、翌年1922年にB-Pが実際に施設を訪れ、1923年にはイギリスの皇太子殿下、オランダの皇太子殿下、世界スカウト機構が スポンサーとなりカンダーシュテーク国際スカウトセンターが設立されました。



KISCメインセンター



現在も利用されているトンネル

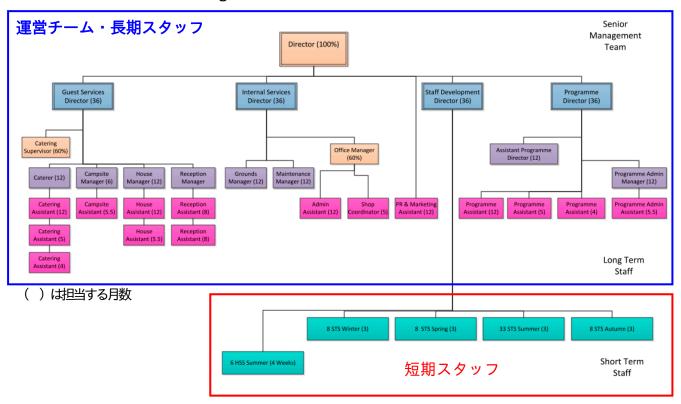


カンダーシュテーク駅前の風景

## スタッフ構成

センターは1年を通して4シーズン(1シーズン:3ヶ月)に分かれ、センターの中枢を担う運営チーム(Senior Management Team) と長期スタッフ(Long Term Staff)、そしてシーズンごとに入れ替わる短期スタッフ(Short Term Staff)で構成されています。短期スタッフは夏季を除き各シーズン8人が配属されます。夏季シーズンは1年を通し最も忙しいため、短期スタッフの人数は30人以上になります。さらに、7月後半から8月前半のピーク時にはスタッフ経験のあるハイシーズンスタッフ(High Season Staff)が加わります。その他に特定のプロジェクトやアクティビティを手伝うヘルパーがいます。スタッフはピンクのTシャツを、ヘルパーは緑のTシャツを着用します。

### Kandersteg International Scout Centre - スタッフ構成図





スタッフはピンクのTシャツを着用



ヘルパーは緑のTシャツを着用

## スタッフの仕事内容

KISC での仕事は大きく3つの部署に分かれています。繁忙期である夏季シーズンは基本的に一つの部署で3ヶ月間働きますが、その他のシーズンはシャレーサービスがメインの仕事になります。

プログラム	ハイクガイド、クライミングガイド、アクティビティのいずれかを担当		
キャンプサイト	キャンプサイトの運営・資材の管理・ゴミの管理		
シャレーサービス	ケータリング(食事)、ハウスキーピング、売店をローテーションで担当		
時間外担当	朝7:30から翌朝7:30まで、勤務時間外要員として夜間の見回りや		
中型的及员工	緊急時の対応を実施、1ヶ月に1回、全スタッフがローテーションで担当		
ウィークリーアクティビティ	ハイシーズン中は毎日ゲスト向けにKISC主催のアクティビティが行われ		
71-29-7271671	全スタッフがローテーションで担当		



キャンプサイト 資材のメンテナンス中



クライミングガイド



シャレーサービス ケータリング担当 スタッフとゲストの食事を調理中



毎週金曜日に実施されるウィークリーアクティビティのインターナショナルキャンプファイヤー。ピーク時の参加人数は800人ほど、このキャンプファイヤーを目的に滞在するゲストも多数います。

# 短期スタッフ 3カ月の流れ

#### 6月

· / 1						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4 シーズン スタート
5	6 ニング期間	7	8	9	10	11
<u>← 17</u>	<u> </u>					
12	13	14	15	16	17	18
			トレーニン	<del>♥ ##                                    </del>	任務開始	
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		
Aust	ralian Contin	gent (200,	N)			

#### 7日

/ 月						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7 Australian C	8 ontingent (	9200人)、
▼ Trans	Atlantic Co	ucil (400人				
10	11	12	13	14	15	16
				Trans Atla	ntic Coucil	(400人)
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

#### 8月

0,1						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	First of August	2	3	4	5	6 Summer Xmas
7	8	9	10	11	12	13
14 Hamp	15 shire Explo	16 rers(400人)	17	18	19	20
0.1	00	00	0.4	0.5	00	0.7
21	22	23	24	25 Hampsh	26 ire Explorer	27 s(400人)
28	29	30	31			
<b>→</b>						

#### 9月

υД						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2 Staff Day Out	3 解散
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24

#### トレーニング期間:

シーズン最初の2週間はトレーニング期間として、 KISCの歴史やセンター内の決まり、その他の全業務と アクティビティを一通り体験します。その後、各部署に 配属され、本格的な任務にあたります。

#### 大派遣団:

数年置きに、いくつかの 大規模な団体が KISC に 滞在します。

今年はオーストラリア、 アメリカ、<mark>イギリス</mark>から 200~400人規模の 団体が訪れました。



## First of August (8月1日):

8月1日は1年を通して最大 のイベントがKISCで行われ、 スイスの建国記念日とスカウ ト運動最初の実験キャンプが 行われた日を祝います。

この日はスカウトセンターを含めた村全体で様々なプログラムが企画され、最後には村の広場でセレモニーが行われます。8月1日にゲストの数はピークに達し、2千人以上が KISC に滞在します。



KISCから村の広場まで 約20分をかけて、参加者 全員(1,500人)がパ レードを行います。

### Summer Christmas (8月6日):

First of August のアフターパーティーとして行われ、スタッフ全員で食事をします。

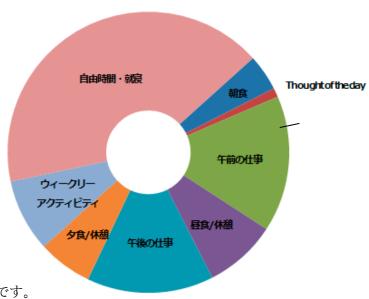


#### Staff Day Out (9月2日):

シーズン最終日にスタッフ全員で一日外出します。企画 内容は当日まで分かりません。今回は山頂にあるレスト ランで朝食を食べ、午後はベルンにある屋内プールに行 きました。

## 短期スタッフ 一日の流れ

	* * '**
07:00	朝食
08:00	Thought of the Day
08:15	午前の仕事
12:00	昼食・休憩
14:00	午後の仕事
17:30	夕食・休憩
19:00	ウィークリーアクティビティ
21:00	自由時間・就寝



- ※ 上表の勤務時間帯は一般的なスケージュルです。
  - ハイクガイドやケータリングなど一泊やシフト制の業務もあります。
- ※ ウィークリーアクティビティはプログラムにより時間が異なります。



## Thought of the day:

Thought of the day とは毎朝行なわれる ミーティングのことです。基本的にその日 に働いている人は全員参加しなければな りません。主にその日のチェックイン、ア ウト数や連絡事項などを伝え合います。最 後にその日の当直が5分程度で自国の話 をしたりゲームをしたりします。



## 夕食:

夏季スタッフメンバーの一人がイスラム 教徒だったため、約1カ月の間、断食を行っており、最終日には他のメンバーも一緒 に断食しました。

この写真はラマダン明けに、みんなで一緒に食事をとり、祝っている風景です。

## 私の仕事

トレーニング期間が終了すると、マネージメントチームとの面接を行い、担当する部署に配属されます。 私は第一希望であったキャンプサイトに配属されました。

- ■KISC内にあるキャンプサイトの数:大小合わせて約60サイト
- ■キャンプサイトスタッフ数:9名(ピーク時は11名)
- ■キャンプサイトの仕事内容:

4	干前中	<ul><li>・サイト内にある全てのトイレ、シャワーの清掃</li><li>・リサイクリングセンターの管理</li></ul>	毎日実施
	午後	<ul><li>・資材の貸し出し、ゴミの収集、</li><li>・キャンプサイトに滞在しているゲスト対応</li></ul>	曜日ごとに仕事内容が異なる

■その他、Swap day があり、希望すれば他の部署の仕事を体験するチャンスがあります。



リサイクルセンター(資材置き場の中) 毎朝、ゲストが持ち込むゴミを確認し、分別の指導を行い ます。



キャンプサイト内にトラクターを3台所有し、用途によって使い分けしています。私が運転しているのは重い資材を持ち上げる時に使用するトラクターです。その他に運搬用と清掃用があります。



シャワー&トイレ清掃 高圧洗浄機を使って掃除します。



資材貸出しの様子 テーブル、椅子、テント、プロパンガス等を貸し出します。

# 休日(Day Off)の過ごし方

休日は一週間に丸1日と半日取ることができます。毎週日曜日に行なわれるミーティングで翌週の休日を希望できます。休日を貯めて連休にすることも可能です(最大3日まで)。

カンダーシュテークはハイキングコースが多く、登山で有名な場所なので、休日を利用してハイキングに行く人が多いです。その他にも、連休を取ってイタリアに行く人やセンター内でゆっくりする人など、人それぞれの休日を過ごします。



KISCが提供しているアクティビティの中でも難易度が高いスノー&アイスアクティビティに参加し、1泊2日で山小屋に泊まり、氷河でのアイスクライミングを体験しました。



自室(3人部屋)で。 KISC 滞在中に誕生日を迎え、たくさんの仲間たちが 祝ってくれました。



電車で2時間ほどかけて、16NJで知り合ったスイス人の友人が参加していたジャンボリーに遊びにいきました。



ヴィア・フェラータと呼ばれるクライミングコースに挑戦し、350mの天然の岩壁を3時間かけて登りました。

# 思い出



6月のトレーニング期間中の登山。初夏にも関わらず 辺りは一面雪景色、3,000m付近まで登りました。



この夏のキャンプサイトスタッフとの集合写真。 3カ月彼らと共に朝から晩まで働きました。



ハイシーズン中の毎日曜日に行われるバーベキューにて。束の間の休息で仲間たちとリラックス。



サマークリスマスにて。この日は正装して外出、右側の二人は南アフリカとアイルランドから参加したルームメイトです。



スノー&アイスアクティビティに参加したメンバーと。 後ろに見える白い塊は大昔の氷河です。



いよいよKISCともお別れ。最後の大仕事、次の スタッフのために全員で大掃除を行いました。

# 派遣を終えて

私が最初にKISCについて知ったのは16NJに参加した時でした。その時 知り合った友人が、この派遣の参加者でKISCでの話を聞くうちに、いつか自分も同じ体験をしてみたいと思うようになりました。それから3年が経ち、念願叶って今回この派遣に参加することができました。

2016年夏季は28の国と地域から参加者が集まり、短期スタッフと長期スタッフの合計62人で構成されました。シーズンが始まる前はお互いを全く知りません。国籍、宗教、喋る言語も違います。シーズンが始まってすぐはお互いの間に見えない距離があり、チームとしてまとまりが無かったのを覚えています。それからトレーニング期間を経て、共に働き、生活するなかで徐々に距離が縮まりました。一緒に汗を流し、語り合い、涙した仲間は私がこの3ヶ月間で得た一番大切な宝です。

スタッフチームの唯一の共通点は皆スカウトであることです。国籍、文化、言語が違えど、同じ志を持つスカウトとしてKISCに集まり、活動を通して絆を深めていきました。スカウティングをしていなければ彼らに出会うこともなく、この素晴らしい経験も得られませんでした。改めてスカウト運動の大きさを実感するとともに、今回のKISCでの経験が、社会に還元されてこそスカウィングの意味があると強く感じます。そのために、この経験を一人でも多くの人に伝え、社会の発展に寄与していきたいと思います。



住所 〒113-8517 東京都文京区本郷 1-34-3 電話 03-5805-2561 (代表) 7ァクシミリ 03-5805-2901 (代表) URL http://www.scout.or.jp/ 2016 年 11 月発行